



SSH 台湾海外研修

8月4日(月)～8月7日(木)の3泊4日で、2年生希望者25名が、台湾で海外研修を行いました。

～台湾国立台南女子高級中学～

1日目と2日目、台南女子高級中学においては、日本(たつの市)と台湾で緯度の差による重力加速度の違いを確認するため、振り子の周期を計測する実験とレゴロボットで車を組み立てました。それをリモコン操作して、リレーレースをするというものでした。

本校の課題研究を英語で説明したり、その結果を考察し、お互いの研究発表を英語で行い、質疑応答も行いました。

なお、1日目の宿泊は、台南市内の生徒宅にホームステイをしました。



～台湾国立武陵高級中学～

3日目、武陵高級中学では、お互いの研究発表を説明した後、振り子の実験を行ったが、武陵の生徒たちは実験の趣旨の理解も早く、実験器具も整っていたので、精度の高い結果も得られた。

また、実験後の考察では、計算式を基に意見を述べたり、図を描いて説明してくれるなど、知識の豊富さと実験に対する積極的な姿勢を感じた。またホームステイ先の生徒とともに下校し、ホームステイしました。

～国立故宮博物院～

4日目、国立故宮博物院においては、生徒たちが科学的な見地から事前に学習していた青銅器や玉器などについて、実験の展示物を見ながら説明を聞き、研修しました。



生徒感想①(抜粋)

初めてのホームステイで緊張はあったものの、優しいホストファミリーのおかげで楽しい時間を過ごすことができました。そして夜、寝る前には、ステイ先の子とその友達で3時間近く話し込んだことも思い出深いです。私は、まさか自分が3時間も続けて、英語でコミュニケーションをとれると思っていたので、それはとても嬉しかったし自信にもつながりました。英語でも楽しくコミュニケーションをとり、お互いの英語が通じるまでしっかりと話し合うことができた。これは私にとって、今回の研修で最も大きな収穫のひとつであるといえるでしょう。

生徒感想③(抜粋)

台南女子での振り子の実験では、班の子に英語で説明をしなければならぬ上、台南の子は英語が流暢で戸惑ってしまった。その後の実験は文法が気になってしまってしゃべるのが怖く、コミュニケーションをあまりとれず、笑顔で乗り切るのみで終わってしまった。喋れたらもっと楽しかったらと思う。へこんだ後頑張ろうと思って挑んだ、二日目の実験では、一日目よりはだいぶしゃべれるようになった。なんとか伝えることができたときのうれしさを実感することができた。一日目の実験はあまりうまくいかなくて考察に困ったが、二日目は思っていた以上にうまく行って、すごくうれしかった。実験説明をしたり考察をしたり、前に出てしゃべることがいっぱいあって、準備は大変だったし、すごく緊張してしまってもううまくいかないことがたくさんあったが、やっぱり後から思ってみるとすごくいい経験になったと思うし、やってよかったと思った。これからももっと挑戦していけるようになりたい。

生徒感想②(抜粋)

色々な不安や不甲斐なさを感じながらも、楽しかった気持ちが多いです。台湾の生徒との交流はSNS上でまだ続いており、辞書に頼りながらも日々楽しく会話しています。また、台湾の生徒とだけでなく、この研修に参加した龍高生間でも事前準備や研修などを通して、良い友人関係が築けたのではないかと思います。台湾は親日で優しく接してくれ、何より私は台湾が大好きになりました。台湾研修は後輩に勧めたいです。